

タカラスタンダード 創業 110 周年 記念動画「次のスタンダードをつくるんだ。」篇を全国公開 土屋太鳳さん(イメージキャラクター)がナレーションを担当

システムキッチン・バスを中心とした住宅設備機器メーカー・タカラスタンダード株式会社（本社：大阪市城東区、代表取締役社長：渡辺岳夫）は、2022年5月30日に創業110周年を迎えることを記念して、特別動画を公開します。



■テーマは「次のスタンダードをつくるんだ。」

タカラスタンダードは、創業以来110年、人々の暮らしの快適さを想いながらキッチンやお風呂などの水回り設備機器を提供し続けてきました。国内のキッチンシェアナンバーワンも、全国で業界最多のショールームも、全てはお客さまの水回りの幸せを追求し続けてきた結果です。

110周年を迎えるにあたり、これまでタカラスタンダードが変えずに大切にしてきたものを改めて振り返りながら、「変わり続けていく時代と共にこれからも変革を続けていく」という思いをステーキホルダーの皆さまにお伝えする動画を作成しました。動画の中では、日々目まぐるしく変わる人々の生活に寄り添う当社の製品や社員の姿を描いています。



ナレーションは、タカラスタンダードのイメージキャラクターを務める女優・土屋太鳳さんが担当。110年の歴史を大切にしながら、これからも進化と挑戦を続けていくという決意が込められています。

なお、動画は2022年5月30日の周年記念当日に公開し、タカラスタンダード公式サイトでご覧いただける他、テレビコマーシャルとしても放送予定です。また、5月30日（月）～6月5日（日）までの約1週間、東京都・渋谷駅前のシブハチヒットビジョンや、大阪府・道頓堀のツタヤエビスバシヒットビジョンでも放送予定。より多くの方に認知していただけるよう、幅広く展開します。

タカラスタンダードは国内で最も歴史ある水回り設備機器メーカーの一つとして、110周年を通じてさまざまな情報を発信してまいります。

■代表取締役社長 渡辺岳夫のコメント

2022年5月30日、タカラスタンダードは創業110周年を迎えました。これもひとえに、皆さまの温かいご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

ある調査によると、創業100年以上の企業の本数は、全体の2~3%程度しかないそうです。当社がこうして、その数少ない企業の一つになれたのも、創業以来、常に人々の生活を思い「ホーロー」にこだわった製品で、社会貢献をし続けてきた結果ではないでしょうか。しかし、皆さまも感じていると思いますが、世界の変化のスピードはとて速くなっている。きっと今までの常識や「スタンダード」では通用しなくなる部分も多く出てくるでしょう。当社が今後も成長し続けるためには、伝統を大切にしながらも、さまざまなことに挑戦し、さらなる「変革」を求めていかなければならない。今回の110周年を記念して作成したスローガンやロゴマークにはそういった思いが込められています。

「次のスタンダードをつくるんだ。」

タカラスタンダードはこれからも挑戦を続け、豊かな暮らしの創造に努力してまいります。



■イメージキャラクター 土屋太鳳さんからのコメント



創業110周年、本当におめでとうございます！私が生まれるずっと前から、人々の生活を支えてこられたタカラスタンダード様。イメージキャラクターとして魅力的な商品を知るたびに、優れた技術を繋いでこられた歴史を実感し、畏敬の念が溢れます。これからも皆様の情熱と決意をしっかりとお伝え出来るよう、精一杯頑張ります！

【参考資料】

■街頭大型ビジョン放映予定

放映期間：2022年5月30日（月）～2022年6月5日（日）

- ・シブハチヒットビジョン（東京都渋谷区／渋谷八千公前広場）
- ・ツタヤエビスバシヒットビジョン（大阪府中央区／道頓堀横）

<タカラスタンダードとは>

1912年創業。『ずっと「愛せる」というしあわせ。』をブランドコンセプトに、独自の「高品位ホーロー」技術を活かしたシステムキッチン・バスを中心とした住宅設備機器を製造販売。より高度化、多様化、複合化するお客さまのニーズにお応えするホーロー技術のリーディングカンパニーとして、また住宅設備機器のトップメーカーとして、次世代を担う新たなホーローの可能性を追求し、快適な暮らしの創造を目指しています。

[設立：1912年5月30日（創業110年） / 売上高<連結>：2,115億円（2021年度） / 従業員数<連結>：6,298名（2022年3月末時点）]